

普段何げなく通り過ぎる街

中にも実はたくさんさんの芸術作品や文化的なスポットが隠されている。秋田商工会議所

などをつくる「秋田市中心市街地活性化協議会」は本年度、

そんなスポットを紹介したパンフレット「秋田市 アート

なまち歩き。」を作成した。60力所を取り上げたパンフレットから6力所を紹介する。



イベント開催時には多くの人でにぎわうJR秋田駅前の「アゴラ広場」。そこでひときわ存在感を放っているのが高さ約6層、幅約15層の大型モニュメントだ。

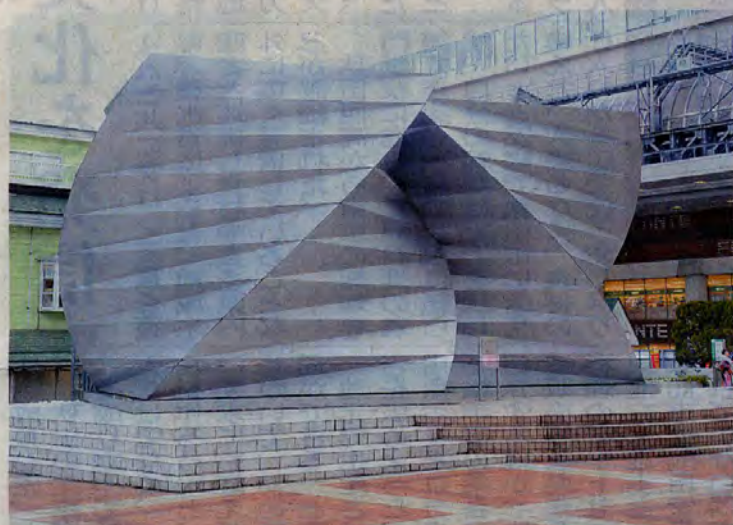
デザインを手掛けたのは大手建設会社のデザイナーで、

作品名はない。モニュメントにはアート作品としての役割以外にも、重要な役割があ

アゴラ広場のモニュメント

活気生む「給排気塔」

◆ 1 ◆



アゴラ広場のシンボルとなっているモニュメント。内部には給排気塔が隠されている



多くのイベントが開催されるアゴラ広場。昨年6月の「これが秋田だ！ 食と芸能大祭典2016」では多くの来場者が詰め掛けた

る。モニュメント内部に、給排気塔が隠されているのだ。西武秋田店や秋田ビューホテルが入居する秋田中央ビルディング地下へとつながっている。

「活気を発信する塔」というコンセプトで制作され、「上昇」を感じさせるらせん形にしているほか、二つのらせんを絡み合うように組み合わせることで、双子のダンサーが

踊っている様子を表現。躍動感があり、にぎわいをイメージさせるつくりになっている。モニュメントは、夜になると色とりどりの発光ダイオード(LED)電球で照らされ、

「恋人の聖地サテライト」に選定された。秋田中央ビルディングの京極英幸総務部長は「モニュメントの存在が多くの人に知られるようになった。これから大勢が集まる街のシンボルであり続けてほしい」と話し

(菊地隆秀)